

地域とマンションとの豊かなコミュニティづくりに向けて

平成 26 年 3 月 27 日（木）

主催／第3ブロックまちづくりセンター（中央区支部、天王寺区支部、西区支部、浪速区支部）後援／中央区役所

平成 25 年度、本格的に活動がスタートした地域活動協議会（以下、「地活協」）。その活性化に向けて、中央区、天王寺区、西区、浪速区の 4 区を担当する第 3 ブロックまちづくりセンターが合同で共通の課題について考える「地域活動協議会活性化フォーラム」を開催しました。テーマは、「地域とマンションとの豊かなコミュニティづくり」。さまざまな視点、アイデアで取り組む事例を参考に、広く市内各地域から参加した地活協役員の方や住民、市、区の職員、まちづくりセンタースタッフと一緒に考えました。

地域とマンションとの豊かなコミュニティづくりに向けた取組紹介

取組 1. “地域ガイドブック”で地域の魅力を内外に発信！

聖和まちづくり協議会(天王寺区)／第3ブロックまちづくりセンター・天王寺区まちづくりセンター支部 スーパーバイザー島崎耕一さん

3. 聖和地域ガイドブック

- ◆作成の目的
地域の新旧の住民に
聖和のまちをもっと
知ってもらいたい
- ◆内容
地域活動の歳時記
地域団体紹介
祭り・イベント紹介
地域のお宝ツアー
周辺マップ など
- ◆マンションのモデル
ルーム等で配布



聖和地域は JR 寺田町駅の北西。興国高校、聖和小学校があり、寺田町公園内に地域会館があります。

地域のことを住民自身が勉強して、内外に発信していこうと、「聖和地域ガイドブック」を作成し、発信しました。内容は、地域活動紹介、地域団体紹介、マップ等。マンションのモデルルーム等でも配布されました。

住宅情報誌より聖和のまちを紹介してほしいと依頼があり、ホームページに地域の紹介コメントが掲載されました。

取組 2. “朝はモーニング喫茶、夜はビアガーデン”で大交流！

桃園地区地域活動協議会／桃園地区地域活動協議会会長 浦野院次さん

ふれあい喫茶を平日ではなく休日に行った方が、若い方、マンションの方も参加しやすいのではと、25 年 7 月の最終日曜日から「モーニング喫茶」を開催。無料で平均 50 名が参加する、ふれあい喫茶に対して、ひとり 100 円とした「モーニング喫茶」は初回から 100 名超。ふれあい喫茶はお年寄りが中心でしたが、モーニング喫茶は若い人が参加されている印象があります。その後、夜のイベントも企画し 8 月最終土曜日 19 時から、若手メンバーの協力のもと、「納涼ビアガーデン」を開催。19 時から 21 時までの予定でしたが、予想外に盛況だったため、22 時まで延長。若い方のすがたが多くなったのでこれからも継続していきたいです。



取組 3. “タワーマンションの内外で交流” つなぎ役は管理人！

アップルタワー大阪谷町ノアップルタワー大阪谷町ライフマネージャー 井上佳弘さん



アップルタワー大阪谷町は、約 300 世帯、1,000 人のタワーマンション。120～130 名が集まる大きなイベントが年に 2 回（写真はタワーマンションならではの天神祭の鑑賞会）ある他、季節のイベント等、1 年間トータルでさまざま企画が催されています。「ゴム鉄砲づくりの得意な住民の企画」「ビンゴの景品や立食パーティの食品の提供」「ひな人形のみんなでの飾り付け」等、「みんなで作るイベント」です。

また、イベントへの町会の参加、協力や近隣のキリスト教系の学校の聖歌隊の協力等、地域との連携も進んでいます。

マンション管理組合の理事はだいたい 2 年で人が変わってしまいますので、なかなか町内会とのパイプができないことが課題。私自身は 7 年目ですので、町会とマンションのつなぎという形で協力しています。

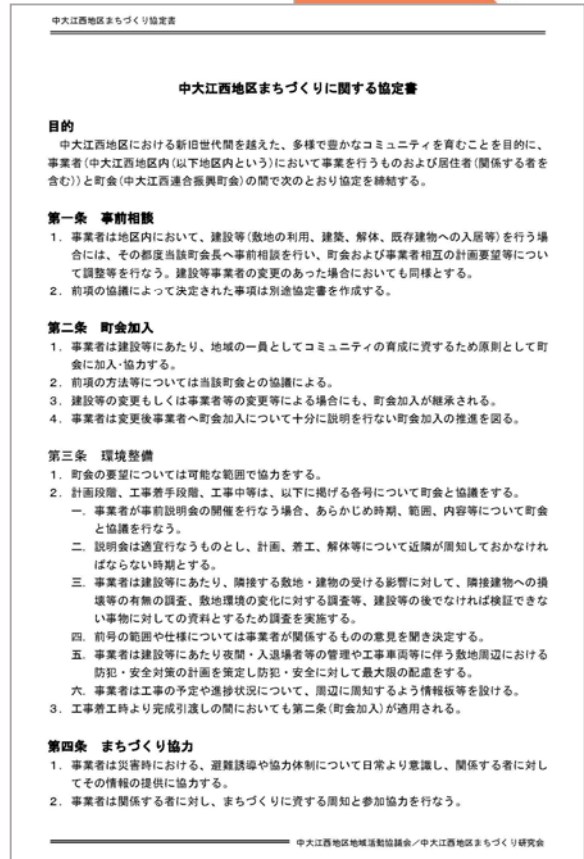
取組 4. “建設ガイドライン” で、建設前からの交流づくり！

中大江西地区地域活動協議会ノ中大江西地区地域活動協議会会長 加藤正二さん

中大江西地区では企業が多かったまちにマンションが急増し、新しい住民が急増する等まちが大きく様変わりしました。

7 年前に発足したまちづくり研究会では、急増するマンションに対して、建設のスタート段階からアプローチしようと「建設ガイドライン」を作成し、町会長とまちづくり研究会の建設部会のメンバーが建設業者等と話し合の場をもつ取り組みを進めています。

「建設ガイドライン」は、マンションをはじめ、あらゆる建物の建設時に地域との話し合いを行い、中大江小学校の通学時の安全等の工事に伴う安全の確保や町会加入等を進めるための考え方や手順をまとめたもので地域の全戸に配布しています。また、お手元に配布している協定書のひな形も用意しています。



取組 5. “地域活動のすそ野を広げる” 7289 (なにわく) ラボ!

浪速区まちづくりセンター支部アドバイザー 綱本武雄さん

浪速区まちづくりセンター支部の取り組みとして「7289 (なにわく) ラボ」を開催しています。「自分の町会以外の活動を知ろう、地域活動の思いとノウハウの共有、活動の担い手を増やしていこう」をねらいに、生活環境の浄化を掲げ発足し、現在は防犯活動となっている「大国パレード」「収容避難所開設訓練」等をテーマにセミナーを多数開催しています。最近では「懐かしの写真メモリーズ」と題し、地域の方から写真をいただき、世代間の交流を図ったほか、「おしえて!となりのふれあい喫茶」とし、各地域のふれあい喫茶などの違いを紹介しました。「おいしそう」「楽しそう」などの話があれば参加しやすいですね。

7289 ラボのルールは、地域の方に話していただくこと、身近な事例を紹介すること、1回に1つのテーマに絞るなど工夫しています。



取組 6. “まず、マンション内から” マンションコミュニティを育むヒント集!

大阪市中央区役所 市民協働課長 北井保行さん

中央区ではマンションが増加するなかで、平成 21 年に 6 階建以上の区内の分譲マンション約 300 棟に対する実態調査を実施し、その後、マンション内で豊かなコミュニティ活動に意欲的な区内マンションの協力のもと、コミュニティを豊かにする事例を集め、「マンションコミュニティを育むヒント集」を発刊しました。

中大江西地域の「命のカプセル」というツールを用いた「福祉」面での取り組みをはじめ、「防災・福祉・日常・地域」の 4 つの切り口からコミュニティを育むヒントを紹介しています。

地域とマンションとの豊かなコミュニティづくりには、まずマンション内のコミュニティづくりが大切との発想です。最近では、高層マンション住民が情報交換できる場をと、ラウンドテーブルや、防災フォーラムなども開催しています。



地域とマンションとの豊かなコミュニティづくりに向けた意見交換



● マンション住民を巻き込む工夫 は？

Q 防災訓練にマンション住民が参加するよう工夫されたことは？

加藤さん 事前に3回、予告の広報紙とチラシを全戸配布したことで、区役所の協力で、各町内を広報車で告知に回っていただいたことから、多くの参加につながったのだと思います。

Q タワーマンションに町会から声をかけるには誰を訪ねればよい？

井上さん 私自身が、町内会の行事に参加していて、背中を押してもらっているやりやすい立場にいます。つなぎ役はライフマネージャー（管理人）がベストかと思います。

Q ワンルームマンションは、管理人を置いているところが少ないため、誰と話したらいいかわからず、マンション住民との接触を図ろうにも図れない。

Q ワンルームのマンションの多い浪速区では、所有者が不明なので協力が求めにくい。

綱本さん ワンルームマンションにお住まいの若い方とコミュニケーションをとるには、「話題を合わせる事がいかに大事か」と感じた。昨年度実施した住民アンケートでは、20代の方でも熱烈に回答している方もおり、「意見を言える場所がなかった」、「情報をどう集めればいいのかわからない」という方も多く、若い人も地域活動に関心がないわけでないと思いました。

● 自転車置き場やごみ置き場の設計変更について意見することは可能か？

加藤さん 説明会の中で「使い勝手がよいのかどうか」等について、地域から質問し、場合によっては場所変更等、若干の設計変更を行っていただいています。

● マンションとのコミュニティづくりに向けて、町会と地活協との関係は？

Q マンション側にとって、町会と地活協との関係は見えづらいのではと感じますが？

浦野さん 桃園地域では、地活協と連合町会は一体のような関係です。

島崎さん 地活協の構成団体には町会が入っているところが多く、事業を実施される方にとって、情報共有が図りやすくなっていると思います。

加藤さん 地活協ができたことで互いの組織のことが分かるようになった点がよかったです。

まちセン 中大江西地域では、新たに企画された避難所開設訓練に子ども会等子育て世代が参加し、一気に連携が進みましたね。

今回のフォーラムではいろいろなタイミング、いろいろな内容、方法で、マンションとのコミュニティづくりに取り組んだらよいのか事例を参考に話し合われました。地活協ができたことで、子育て層など多様な世代が地域活動に関わる機会が増えたり、地域内での情報共有が進んだり、あるいは新たなアイデアで新たな事業に生まれたりと地活協の力添えによる効果が、少しずつ出始めているところがあると感じました。

フォーラムを通じて地域活動協議会の取り組みに興味を持っていただければ幸いです。フォーラムやマンションでの取り組みについてお問い合わせがございましたら、「中央区まちづくりセンター※」までお気軽にご連絡ください。

※ 平成26年度より委託者が変更され、「中央区まちづくりセンター」に名称が変更となりました。

この記録に関する内容、問合せは中央区まちづくりセンター 中央区役所6階（電話 /06-4708-8183）まで